

第七次甲府市総合計画説明会 会議録（羽黒地区）

日 時	令和8年5月22日（金）午後7時00分～午後8時00分
会 場	羽黒小学校体育館
参 加 者	91名（市長等及び関係職員含む）
次 第	1 市長説明 2 意見交換 3 地区からの挨拶
意見交換記録	
質問	<p>・空き家対策について</p> <p>近年、当地区内において空き家が増加しており、それに伴い様々な問題が発生している。建物は老朽化が進み、倒壊の危険性や景観の悪化、敷地内の樹木が繁茂し、道路などの通行に支障となる事例や、ゴミの不法投棄など、地域の生活環境にも影響している。</p> <p>このような状況を踏まえ、甲府市として空き家の適正管理や空き家の増加に伴う影響について、地域住民が総合的に相談できる窓口の設置など空き家対策の支援体制について甲府市の意見を伺いたい。</p>
樋口市長	<p>空き家は適切な管理を怠ると近隣の生活環境に様々な悪影響を及ぼすことになる。こうしたことから、本市ではまちづくり部の空き家対策課の中に、空き家についての総合的な相談窓口を設置し、市民の皆様からの情報提供などに基づき、空き家の状況把握を行う中で、管理が不全な空き家の所有者等へ改善を依頼し、所有者責務による適切な管理を促している。どんなことでも結構なので、ご相談があれば空き家対策課にご連絡いただきたい。</p> <p>また、適切な管理が行われず、保安上、衛生上著しく危険と判断される空き家については、特定空家等の該当判断を行い、段階的に勧告等の行政指導や命令、戒告等といった行政処分を実施している。</p> <p>なお、羽黒地区においては、令和4年度と5年度にそれぞれ特定空家等に対して行政処分の一つである略式代執行により建物の除却を実施した。</p> <p>今後においても、空き家の所有者に対する意識啓発や空き家</p>

	<p>相談窓口の周知に努めるとともに、自治会の皆様からいただく管理が不全な空き家などの相談については、所有者に対して保安上、衛生上問題があることを認識してもらい、改善を促していく。いずれにしても、個人の所有物であることから、段階を踏んで対応していかなければならない旨はご理解いただきたい。</p> <p>また、空き家問題は様々なケースがあるが、利活用可能な状態のうちに対応を図ることが肝要であると考えていることから、空き家の利活用や困りごとがあれば、遠慮なくまちづくり部空き家対策課の相談窓口にご相談をいただきたい。</p>
質問	<p>・湯村温泉通りの整備について</p> <p>湯村温泉通りは地域を循環する唯一の道路であり、地域内の交通が集中するバス路線である。また、災害発生時には、避難、救助など重要な役割を担う道路でもあるが、ほぼ全線に渡り幅員が狭く曲線が多いため、歩行者や車の「安全・安心」な通行に支障をきたしている。全線において、すれ違い箇所の設置など、狭い部分の解消整備と歩道の再整備（凹凸をフラットに）、車道の舗装打替え整備について早急な対応をお願いしたいと思うが、甲府市の意見を伺いたい。</p>
まちづくり部長	<p>湯村温泉通りは、地域の皆様にとって重要な生活道路であるとともに、「信玄の湯 湯村温泉」を訪れる方々が利用する道路でもある。こうしたことを踏まえ、本市においては、これまで水路改修に合わせた歩道整備や退避所の設置などを実施し、道路の安全性の確保に努めてきた。</p> <p>また、今年度においては、「信玄の湯 湯村温泉」の再開発に係る支援の一環として、山手通りから塩沢寺までの区間において、舗装のリニューアル工事を予定している。</p> <p>今後においては、現地を確認させていただく中、狭い部分や歩道に係る整備については、実現性とその方策について検討し、舗装の打替えについては、年次的に対応をしていく。</p>
質問	<p>・買い物支援について</p> <p>以前、高畑町昇仙峡線にスーパーがあったが、現在は日常の買い物をする場所が近隣にはない状況となっている。特に高齢</p>

<p>福祉部長</p>	<p>者や車を運転できない住民にとっては、食料品や生活必需品の購入が負担となり生活に支障をきたしている。また、こゝろデマンドタクシーなどの移動手段もあるが、利用者には費用負担が伴い、気軽に利用できる状況ではない。</p> <p>については、地域住民に対する買い物支援について、甲府市の意見を伺いたい。</p> <p>近隣にスーパー等がない中での買い物支援について、とりわけ、交通手段に乏しい高齢者への支援については、食料品あるいは生活必需品の配達や出張販売を行う協力店の紹介等を行う「買い物弱者支援事業」を実施しており、現在34店舗にご登録いただいている。こちらの店舗情報については、市ホームページや公民館や福祉センター等で掲載・配布をしている。よろしければ後ほどお渡しさせていただくので、是非ご活用いただきたい。さらに、今年1月からは、介護保険の要支援者等を対象に、買い物等を通じてリハビリを行う「いきいき買物リハビリ事業」を開始したところである。こちらは条件があるが、併せてご活用いただきたい。</p> <p>また、地域の事例になるが、自治会連合会と連携を図り、地域の商店やスーパーと協議・調整を行う中、出張販売を実施した事例もあることから、地域課題としてご相談をいただく中で対応を図ってまいりたい。</p> <p>加えて、実証運行の段階である「デマンド型乗合タクシー」の費用負担については、同じ場所で乗車・降車するグループ利用の場合には、割引料金を設定させていただいているので、こちらのほうも参考にさせていただきたい。</p> <p>今後においても、これらの事業を広く周知するとともに、地域や関係者の皆様からのご提案やご意見などを踏まえる中で、地域にお住まいの方々が、安心して暮らし続けていけるよう取り組んでいく。</p>
<p>質問</p>	<p>・体育館の空調設備について</p> <p>資料の30ページにあるが、災害級とまで言われている近年の暑さであることから、今回、市で学校体育館に空調設備を整備することについては非常にありがたいことだ。4年間で60億円をかけてとのこと、この決断をされた市長をはじめ、市</p>

<p>危機管理監</p>	<p>役所の皆様には本当に感謝申し上げます。</p> <p>私がお伺いしたいのが、30ページの空調設備のところである。実は私が勤めていた結構大きなビルでもガスヒートポンプを使っており、非常に効率的で安くて良い冷暖房ということは承知している。このガスヒートポンプについて、甲府市にも色々な地域があるが、このガスはいわゆるプロパンガスを使うのか、都市ガスを使うのか、またはその両方を使うのかお教えいただきたい。</p> <p>また、そのガスヒートポンプについて、ガスの供給がなかった場合はいわゆる電気による冷暖房も可能であるのかもお教えいただきたい。</p> <p>空調設備については、現在、電源自立型のガスヒートポンプ方式というものを考えているところである。こちらについては、基本的には都市ガスが入っているところについては、都市ガスと繋げながら動かしていく、都市ガスが入っていないところについては、プロパンガスを置きながら動かしていくといった考えである。</p> <p>また、実際に災害等が起きて都市ガスが止まってしまった場合であっても、プロパンガスを持ってくることによって動かしていくことを考えている。電気によって動かすということはないが、この空調を動かすのは、自立型の電源ということになっているので、その空調を動かすというところについては、その設備独自で電源を自発的に起こしながら動かすという仕組みのものを導入し、対応していければと考えているところである。</p>
<p>質問</p>	<p>・リニアを活かしたまちづくりについて</p> <p>リニア駅については、「魅力」を磨くためにリニアを活かしたまちづくりを一生懸命やっただけではない。新聞報道やホームページで拝見しているが、この中でリニア開業効果を最大限享受しつつ、新たな甲府・山梨の玄関口として、圏域全体の価値を向上させるというふうにご決意いただいている。</p> <p>今の羽黒地区の身近な問題ということになるが、湯村温泉や昇仙峡など、その関係でお勤めされている、いわゆる観光業や宿泊業、運輸業などの方々がいると思うが、このリニア駅やリニア開業を活用することによって、どのようなメリットがある</p>

樋口市長	<p>か、湯村温泉や昇仙峡に関するお考えをお持ちなのか、現段階のお気持ちや考えで結構なので教えていただきたい。</p> <p>まず、圧倒的に時間距離が短縮されるということで、品川から20分、名古屋から40分、最終的には東京・大阪間を結ぶということである。3月には新山梨駅の起工式が行われたが、東西に1.5kmという大変長い駅である。その時間距離を活かすには、甲府市内・甲府市域はもとより、リニア駅あるいは甲府市から360度見まわすと、日本一級の山々、観光地があることから、そこへのアクセスがしっかりしていなければ、リニアの効果が波及できない。県の方と話をしていたが、今、県の方では富士トラムという新たな交通システムについて研究・議論が進んでいることから、しっかりと私どもも情報を共有していきたい。</p> <p>いずれにしても、リニア駅周辺はシンボリックにグリーンなまちづくり、今、米倉山では水素エネルギーを使った様々な利用方法が検討されており、そういうものを採用する中で、新たなシステムのシンボリックなエリアを作っていくなど、これはまだ例であって、どういうふうに検討して組み入れていくかについては、これからではあるが、そういったところに取り組んでいく。その更に周辺については、やはり時間距離の短縮を活かして、多くの人たちがリニア駅に降りていただき、山梨県の魅力を堪能していただけるようなまちづくりをそれぞれ進めていけるように努力してまいりたい。</p>
リニア交通政策監	<p>市長が申し上げたとおり、リニア開業に向けたまちづくりについては、リニア駅前だけのまちづくりに限定されるものではなく、本市内、更には甲府盆地内といった圏域スケールで取り組むということになっている。また、観光分野ということで、羽黒地区では信玄の湯湯村温泉があるが、もちろん観光分野や産業分野など、多岐にわたり、今、多くの皆様方と意見交換をして、今年度中に新たなコンセプトブックを作っていくところである。</p> <p>いずれにしても、昨年、市長より「こうふく」というキーワードを示していただいたが、その「こうふく」というものの実現に向けて、あらゆる分野で皆様方と協力していきたいので、</p>

<p>樋口市長 (まとめ)</p>	<p>また報告できればと考えている。</p> <p>夕方・夜間の大変貴重な時間に参加いただいたことにまずもって心から厚く御礼申し上げます。</p> <p>総合計画は本市の最上位計画であり、この計画の下にいくつもの計画がぶら下がっているが、今日申し上げた第七次総合計画の方向性、考え方、そして3つの基本目標とした「ひと」「まち」「魅力」を磨き上げていくことで、甲府の市民の利益をしっかりと考えていく、つまり幸福を追求していこうと思う。これからの10年計画であることから、とても長い時間であるが、ある意味絶えず検証をして変わっていく計画でもあるので、皆様方からいただいたご意見を参考に、更にブラッシュアップをしていくことになるかもしれない。よろしくお願い申し上げます。</p> <p>地域課題については、本当に少子高齢・人口減少社会により様々なところで課題が出てきているが、皆様方とよく連携をしながら一つ一つ課題解決してまいりたいので、是非とも今後ともお力添えを賜りたい。</p>
<p>地区からの挨拶要旨</p>	
<p>羽黒地区自治会連合会会長</p>	<p>第七次甲府市総合計画の説明会を開いていただき、本当にありがとうございました。10年間のスパンだが、節目で報告が必要だと思うので、ご配慮をお願いしたい。</p> <p>今後、この羽黒地区が住みよいまちになりますようご協力をお願いする。</p>